

☆ センター長ご挨拶 <福島県難病相談支援センター 長谷川秀雄>

若者が相談する相手として、最近は家族や友人よりも AI が急増しているそうです。ヒトがヒトを支えることを「人」という文字にした古代の人々の思いに立ち返る必要があるのではないのでしょうか。

私たちの相談活動は「個性よし」「迷うのよし」という非 AI・体温のある対話にこだわりながら進めてまいりました。

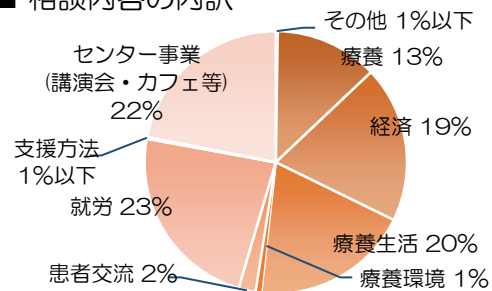
このような私たちの活動実績をご覧ください。



相談者数と内訳（令和7年4月～令和8年3月）

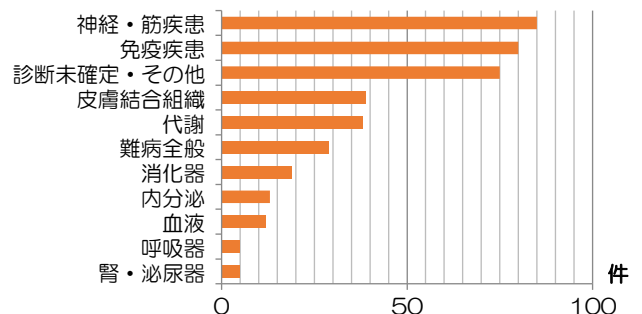
相談者数			相談者（患者との関係）					相談方法			
総数	新規	継続	本人	家族	支援者	患者会	その他	電話	来所	メール	その他
400	209	191	278	38	66	14	4	355	31	14	0

■ 相談内容の内訳



※就労に次いでセンター事業の相談が多い傾向でした

■ 疾患群別の内訳



相談件数の推移 単位：件

相談方法	R5年度	R6年度	R7年度
電話	213	302	355
来所	31	29	31
メール	13	18	14
その他	7	6	0
合計	264	355	400



トピックス

難病相談支援センターのホームページを立ち上げました。このホームページには、福島県難病ガイドブックをアップいたしました。どうぞご活用ください。また、令和8年度は、難病ピアサポーター養成研修(経験者コース、初心者コース)を対面開催致します。さらに、新たに各地域での難病カフェ、10代・20代しゃべり場も開催することに致しました。対象者の皆様のご参加をお待ちしております。

福島県
難病相談支援センター
ホームページは
こちらから



令和 7 年度 福島県難病相談支援センター 活動報告

◇ ピアサポート相談会 「おしゃべりほっとカフェ」 ◇

- 開催日：第 1 回令和 7 年 8 月 7 日（木） 参加者 5 名 ピアサポーター 13 名
第 2 回令和 7 年 10 月 16 日（木） 参加者 10 名 ピアサポーター 11 名

- 場 所：第 1 回は Zoom によるオンライン開催

第 2 回は郡山ビックアイ（市民交流プラザ 7 階）対面開催

いただいたアンケートから「異なる疾患を持つ人と療養生活に関する情報交換をしたり、いまのようになるときどきみなさんとおしゃべりできることに意味がある」との共感が寄せられました。

◇ 難病研修会 ◇

- 開催日：令和 7 年 7 月 3 日（木）

- 場 所：Zoom によるオンライン開催

- 参加者：34 名

- 内 容：大阪難病相談支援センター センター長

大黒宏司氏をお招きし、「我が国の難病施策と患者会の役割」をテーマに、難病患者の心理状

況を考えた支援者の向き合い方、難病対策の目的と方向性、患者会の役割と活動など、ご自身の経験談も含めて、わかりやすい言葉で講演いただきました。

福島県難病相談支援センター 難病研修会

「我が国における難病施策と患者会の役割」

大阪難病相談支援センター センター長
(一社)全国膠原病友の会 常務理事
(一社)日本難病疾病団体協議会(JPA)代表理事
大黒宏司(おおぐろひろし)
[理学療法士・社会福祉士]

令和7年7月3日(木)午後1時30分～3時30分

◇ 難病医療・就労相談会 ◇

- 開催日：令和 7 年 9 月 4 日（木）

- 場 所：Zoom によるオンライン開催

- 参加者：17 名

- 内 容：

講演：① 福島労働局公共職業安定所

「難病の方への就職支援について」

② 産業保健総合支援センター

「両立支援の進め方について

～会社との連絡調整と主治医との連携を中心に～」

③ 就労移行支援事業所凸ゼミ福島「自分らしく働きたい!!

～病気や障害があるのはマイナスではない。」

当事者発表、質疑応答： クローン病患者 線維筋痛症患者

就労支援 3 機関の支援内容についての講演、難病患者自身の事例発表を行いました。

支援制度を活用している方は一握り。「病気があっても働くことが出来る、そのために様々な制度がある。」このことを多くの方に知ってもらい、より多くの方が活用できるようにとの願いを基にこの相談会を企画しました。また勇気のある事例発表に多くのコメントがあり、共感の輪が広がりました。

【出張就労相談について】福島県難病相談支援センターでは毎月第 3 月曜日、ハローワーク福島より難病患者就職サポーターが来所し、就労に関する相談にお答えします。随時承ります。相談は無料です。



◇ ピアカウンセリング研修会 ◇

- 開催日：令和7年11月6日(木)
- 場 所：Zoomによるオンライン開催
- 参加者：19名
- 内 容：渡邊 勉先生（目白大学名誉教授 福島学院大学



心理臨床相談センター非常勤相談員 医学博士 公認心理師）を講師にお迎えし、「ピアサポーターの事例から考える～仲間（ピア）としてつながる～」をテーマとし、参加者からの発表事例を題材にケーススタディを行いました。参加者からのコメント、先生からのまとめを通して、ピアとしての心構え、対応方法に関してより一層理解を深めることができました。

◇ 難病医療相談会・交流会 ◇

- 開催日：令和7年12月6日(土)
- 場 所：Zoomによるオンライン開催
- 参加者：26名
- 内 容：難病患者の小児から成人への移行期医療にも詳しい森雅亮先生（東京科学大学/聖マリアンナ医科大学教授 医学博士）をお迎えし、膠原病患者とその家族を対象に『膠原病について』今後の免疫疾患との付き合い方～厚労科学研究自己免疫班の取り組みについてというテーマで講演していただきました。また、公立大学法人福島県立医科大学付属病院 膠原病リウマチ内科講師の浅野先生にもアドバイザーとしてお越しいただき、森先生とともに参加者からの質問にお答えいただきました。



福島県難病相談支援センター 令和8年度事業案内

ピアサポーター養成研修（～♪ ピア（患者仲間）が支えあう活動の担い手を養成します。

（経験者コース）「難病ピアサポートの実践～原点を大切にし、ふりかえりつつ前に進む～」

日 時：7月11日（土）10:30～15:00（昼休憩をはさむ）

場 所：キョウワグループ・テルサホール 4階研修室（つきのわ）

対象者：福島県難病相談支援センターのピアサポーターとして継続している方

申込み：メール、電話、FAXにて、またはHPお問合せフォームから

締め切り6月12日（金）

（初心者コース）「難病ピアサポートの基礎～「物語」をキーワードに～」

日 時：8月29日（土）10:30～15:00（昼休憩をはさむ）

定 員：12名（定員になり次第締め切ります）

場 所：キョウワグループ・テルサホール 3階会議室（あづま）

対象者：難病患者とその家族で、福島県難病相談支援センターで、ピアサポーターとして活動する意思のある方

申込み：電話のみ 7月1日（水）開始（電話で受け付け後詳細案内を送付いたします）

福島県難病相談支援センター

☎ 024-521-2827

講 師：富山大学学術研究部人文科学系教授（人文学部社会文化コース（社会学））

初心者・経験者コース講師は同じ

ピアサポート相談会

おしゃべりほっとカフェ (^^) 患者さんのおしゃべりの場です。(対面開催)

日 時：9月10日(木) 13:30~15:30

場 所：キョウワグループ・テルサホール 3階大会議室「あぶくま」

対象者：県内の難病患者とその家族・支援者・難病への理解を深めたい方

10代・20代しゃべり場

日 時：8月22日(土) 10:00~11:40

場 所：zoom 開催

対象者：10代 20代 潰瘍性大腸炎・クローン病の方

10代 20代の若者が、日頃の不安や悩み、思いを安心して語り合い、同じ立場の仲間とつながることで孤立感の軽減を図るとともに、自分らしく前向きに生活していくための気づきや力を得ることを目的として開催。

難病カフェ

難病の患者・家族・支援者・難病への理解を深めたい方を対象にした各地域での難病カフェを開催します。

第1回

日時：6月18日(木) 13:30~15:30

場所：いわき市総合保健福祉センター 3階健康学習室

第2回

日時：10月31日(土)

場所：会津保健福祉事務所 会議室

難病医療・就労相談会(就労セミナー)

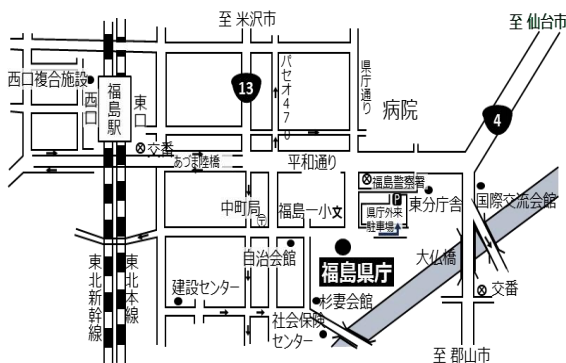
日 時：12月19日(土) 13:00~15:00

場 所：Zoom オンライン開催

対象者：難病の患者・家族・支援者・難病への理解を深めたい方

※詳細内容は、今後決まり次第ホームページに掲載いたします。

参加費はいずれも無料



〒960-8670

福島県福島市杉妻町2-16(県庁本庁舎1階)

福島県難病相談支援センター

相談時間 9:00~16:00

(土・日・祝日・年末年始休)

TEL : 024-521-2827

FAX : 024-521-2829

Mail : nanbyou_center@pref.fukushima.lg.jp

車でお越しの際は県庁外来駐車場をご利用いただき駐車券をお持ちください。

お身体の不自由な方はセンターにご相談ください。